

東芝パッケージエアコン天井埋込形ダクトタイプ用 気化式加湿器 取付説明書

TCB-HS100D-1

取付に際しましては、この説明書をよく読み正しい取付が行われますようお願いいたします。

取付け可能 室内ユニット機種名

- MMD-J2240H・J2800H
- MMD-P2240H・P2800H
- MMD-AP2241H・AP2801H
- MMD-AP2243H・AP2803H
- MMD-AP2244H・AP2804H

基本的な注意事項

1. 加湿器の取付け工事は、必ずエアコン本体を据付ける前に行ってください。
また、加湿器組み込み後の輸送はしないでください。
2. ヒューミティストット〔23HU〕(現地手配)は、湿度低下で接点が閉となる形式の物で、
接点容量200VA以上の物を準備してください。
3. 供給水は水道法水質基準に準ずる飲料水を使用し、給水管(現地手配)には付属の給水ストレーナーを取付け、保守管理上各加湿器ごとに給水用サービバルブ(現地手配)を設けてください。
4. 給水は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン〔型式認可品〕(現地手配)をご使用ください。
5. 死水排水バルブ(現地手配)の取付をおすすめします。給水配管内の水は加湿時のみ新しくなります。
冷房時などで加湿器を使用しない時の給水配管内の水は長時間動かかないので腐ってしまいます。
加湿(暖房)始めに、その水を加湿器に給水されますと匂いの発生・菌の繁殖の原因になります。
加湿(暖房)シーズン開始時に、死水排水バルブと給水用サービバルブを開き新しい水に置換えてから使用してください。
6. 使用給水圧力は0.05~0.5MPa・水温は5~30℃です。この範囲内でご使用ください。
7. 加湿(暖房)シーズン後は、給水用サービバルブを必ず閉めてください。
8. 通気に腐食性ガス・塩分・オイルミストを含まないようにしてください。
9. シーズンイン時には、給水ストレーナーの清掃を行ってください。
10. 現地手配の給水配管にも断熱処理を行ってください(断熱材現地手配)。給水配管内の水が凍結した場合、水の体積膨張により配管や接続部を破壊し、漏水の原因となります。

〔仕様〕

機種名	TCB-HS100D-1	
電源	単相200V 50/60Hz	
適合エアコン機種名	MMD-J2240H MMD-P2240H MMD-AP2241H MMD-AP2243H MMD-AP2244H	MMD-J2800H MMD-P2800H MMD-AP2801H MMD-AP2803H MMD-AP2804H
標準加湿量(kg/h)	4.9	5.5
定格風量(m ³ /h)	3600	4200
通過空気温度	40℃ 20%RH	
一次側給水圧力	0.05~0.5MPa	
使用水	水道法水質基準に準ずる飲料水(5~30℃)	
周囲温湿度	加湿器本体 : 5℃~60℃ 90%RH以下 リレーボックス : 5℃~40℃ 80%RH以下	

部品構成

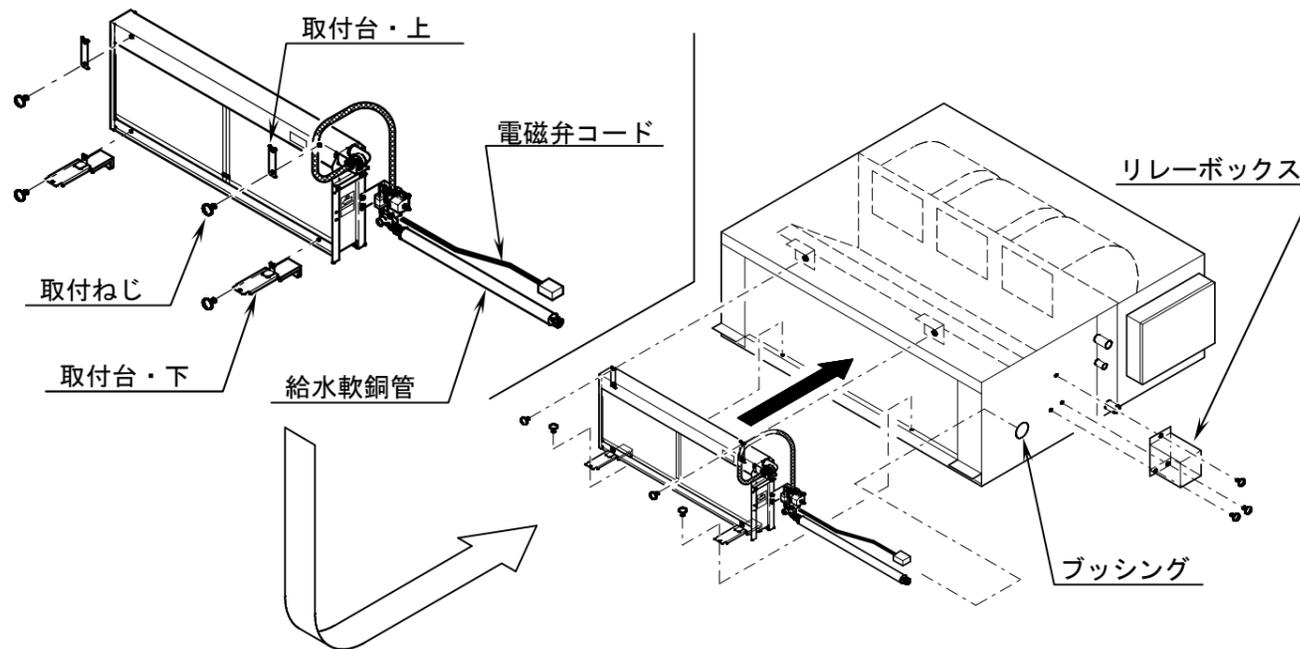
下記の部品で構成されておりますのでお確かめください。

取付説明書	加湿モジュール	加湿器取付枠	リレーボックス	給水軟銅管	給水ストレーナー	取付台・上	取付台・下
本紙							
短絡コネクタ	機種切替用コネクタ	閉端接続子	断熱材類		取付ネジ		
			リグナット用	給水ストレーナ用	固定ボルト		
			トラス小ねじ M3×6L 4本			タッピンねじ φ4×10L 5本	

取付手順

加湿器の組み込みは、必ずエアコンを据付ける前に行ってください。

1. エアコン側面の配管左横のゴムプッシング(φ30)および内側断熱材に十字に切り込みを入れてください。
2. 付属のトラス小ねじ(M3×6L)4本を用いて取付台上、下を加湿器取付枠に取付けてください。
3. 付属の給水軟銅管内にゴミなど入っていないことを確認し、加湿器本体の給水口エルボに給水軟銅管を接続してください。
(ダブルスバナ使用・締付けトルク15~20N・m程度)
4. 加湿器モジュールを加湿器取付枠に納めた状態で、エアコンの前面より熱交換器の二次側に入れてください。
加湿器を入れる段階において、先に給水軟銅管を十字に切込みを入れたプッシングから、貫通させてください。
加湿器取付枠に取り付けた取付台・上を、熱交換器上面の板金に、付属のタッピンネジ(φ4×10L)2本で取付け、取付台・下はドレン皿を固定しているタッピンねじ(2本)をはずし、共締めにて取付けてください。
5. 加湿器本体に付いている電磁弁(HU)のコードを給水軟銅管と同じプッシングから外に出してください。
6. リレーボックスを、エアコン配管左横の側板に付属のタッピンねじ(φ4×10L)3本で取付けてください。



7. 電気配線（その1）

- (1) 電磁弁のコードをリレーボックス内の2Pコネクタに接続してください。
- (2) MMD-AP2241H・AP2801H・AP2243H・AP2803H・AP2244H・AP2804H リレーボックスから出ている2芯シールド線(先端2Pコネクタ付)をエアコン電気部品箱内制御基板の『CN066』に接続してください。
- (3) 付属品の短絡コネクタ（白）をエアコン電気部品箱内制御基板の『CN070』に差し込んでください。

短絡コネクタは必ず差し込んでください。結線しないと暖房運転時にドレンポンプが動作せず、水漏れの原因となります。

- (4) MMD-J2240H・J2800H、MMD-P2240H・P2800H リレーボックスから出ている2芯シールド線(先端2Pコネクタ付)を先端から100mm程度切断し、旧機種対応用コネクタ（CN13）を付属の閉端接続子でつないでからエアコン電気部品箱内制御基板の『CN13』に接続してください。
- (5) リレーボックスから出ている2芯キャプタイヤコードをエアコン電気部品箱内へ引き込み、白リード線を端子台の②S端子に接続してください。もう一方の黒リード線は、MMD-JおよびMMD-Pシリーズに取り付ける場合で、ドレンアップキット（TCB-DP22D）を組み込む場合のみ、ドレンアップキットからきている6芯キャプタイヤケーブルの茶リード線と接続してください。

8. エアコンをエアコンの据付説明書に従って据付けてください。

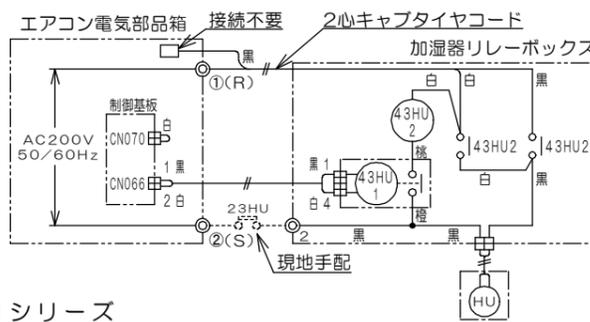
ヒューミディスタット(23HU)の配線回路はエアコン据付け後に接続してください。

電気配線作業は配線材に傷を付けないようにおこなうこと。配線材に損傷があると、動作不良や発熱・火災の原因になります。

9. 電気配線（その2）

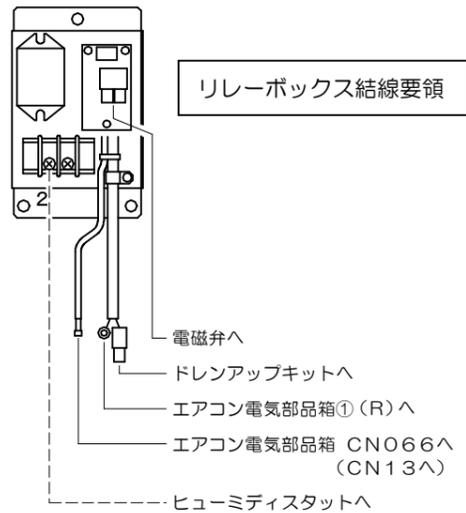
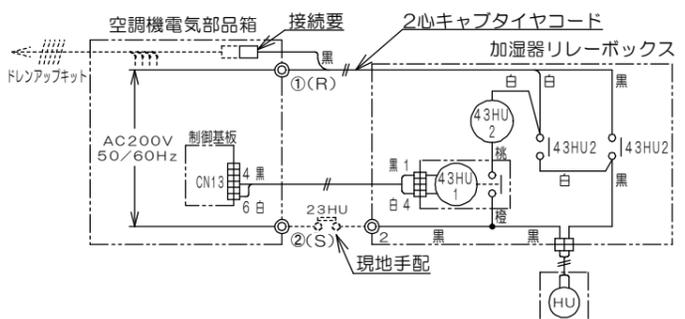
リレーボックス内端子台の左側端子（端子番号2）からヒューミディスタットへ、ヒューミディスタットからエアコン電気部品箱内端子台の①（R）端子へ配線してください。
（ヒューミディスタットおよび配線材(0.75mm²以上)は現地手配です。）

MMD-APシリーズ



MMD-Jシリーズ

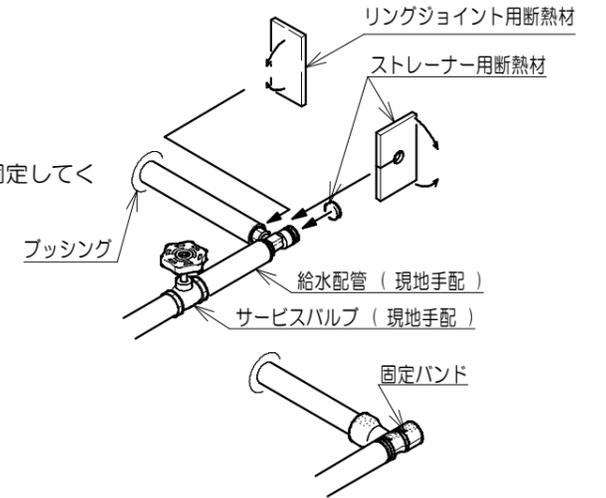
MMD-Pシリーズ



記号	名称
HU	電磁弁
43HU1	リレー(基板)
43HU2	リレー
23HU	ヒューミディスタット(現地手配)

10. 給水配管

- (1) 図に従って現地手配の給水配管をしてください。
- (2) 付属の給水ストレーナー〔接続部はR1/2（1/2 おねじ）〕を現地手配の給水管に接続してください。
- (3) 現地手配給水管内の油分・塵埃などの除去のために、通水してフラッシュ（給水部断熱材貼付け）を行ってください。
（バケツなどで、水を受ける。）
- (4) 給水軟銅管を給水ストレーナーに接続します。
（ダブルスパナ使用・締付けトルク 15~20N・m程度）
- (5) 水漏れ確認を行ってください。
- (6) 給水ストレーナーに付属の断熱材を取付け、付属のバンドで固定してください。
- (7) リングナット部に付属の断熱材を貼付けてください。
- (8) 現地手配給水配管にも、断熱処理を行ってください。
（断熱材 現地手配）



試運転

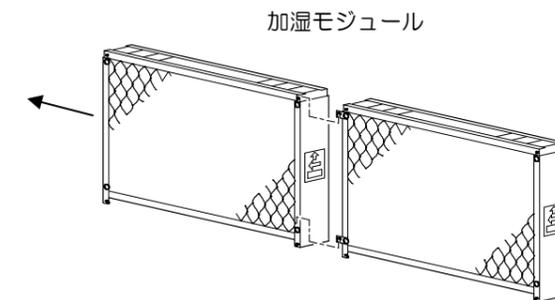
- 元電源を入れてください。
- 加湿器の給水用サービスバルブを開いてください。
- リモコンの運転切換スイッチを暖房にします。
- 温度設定を希望の温度にします。
- ヒューミディスタットを希望の湿度目盛りに合わせます。
- 運転/停止ボタンを押します。暖房運転・加湿運転を開始します。
- ヒューミディスタットの設定を変化させて、給水用電磁弁が作動し正しく加湿制御していることを確認してください。
- 再び運転/停止ボタンをおすと運転を停止します。

保守

1. 加湿モジュール洗浄

この洗浄は目に見えている汚れを落とす物ではなく、親水性（吸水性）のなくなった加湿モジュールに再度親水性を復活させて、加湿能力を回復させるためのものです。

- ① 加湿器モジュールをエアコンより取り出してください。
加湿モジュールの洗浄を行なってください。
- ② 洗浄剤は市販の家庭用「酸素系漂白剤」をご使用ください。
- ③ 加湿モジュールが十分に入る大きさの洗浄用容器を用意し、洗浄液を作ります。
洗浄剤の使用法、使用上の注意に従ってシミ抜き程度の濃さの水溶液とし、加湿モジュールが十分に浸る量をご用意ください。
- ④ 加湿モジュールを洗浄液の中に30分程度「つけ置き」し、軽く振り洗いをしてください。
- ⑤ 十分に水洗いを行い、静置して水気を落としてください。
- ⑥ 加湿モジュールの連結金具を引っ掛けるようにして加湿器に取り付けてください。
加湿モジュールには気流方向がありますので間違えないようご注意ください。



2. シーズンイン時には、給水ストレーナーの清掃を行ってください。